

窓辺に飾られた深紅のポインセチアが、師走の日々に彩りを添える時節となりました。

## 「N校受験は、諦めたほうがいい」 ～ 46年前の三者面談の記憶 ～

中学3年生はすでに進路希望の目処がつき、それに向かって一心不乱に勉強している生徒がほとんどかと思えます。私事ですが、先日「還暦通過を祝う同期会」に参加しました。宴会がお開きになり、二次会に向かう多くの同期生から離れて、ロビーで恩師と話しこんでいるS君がいました。久しぶりにお会いした先生と思い出を懐かしんでいる風でもなかったのに隣に腰を下ろし伺っていると、46年前のこの時期、担任に「N校受験は諦めたほうがいい」と言われ、帰宅後、家庭内で随分もめたのだという話をしていました。口調は激しくはないものの、笑って流せるようでもなく、ずっと心に引っかかっていたようでした。15歳だった少年が当時、進学先を決定するにあたり真剣に悩んだことを感じました。そのS君は、担任の指導や親の心配を撥ね除け、N校を受験し見事に合格、高校では運動部のキャプテンとして活躍し、学年の中でも人気者でした。

「入れる高校から、入りたい高校へ」の進路指導も久しくなされ、試験に落ちたくらいで人間の価値が下がるわけではないとはいっても、高校入試は受験生や保護者にとっては大きなストレスでもあります。

**「入学試験は、できれば合格したい。しかし、合格したからといって、天下を取ったように思うのは思い上がりである。他方、入試に落ちるのはうれしくないことははっきりしている。しかし、恥じたりするのは誤っている。非力、低能のあかしでもない。名誉ある失敗である。それを挽回しようという無意識の緊張は、やがてものを言う。力をのばす原動力かもしれない。」** (外山滋比古著「失敗談」東京書籍より 抜粋)

様々なシステムの高校(全日制高校、定時制高校、通信制高校)があります。場合によっては学校に通わず、国の定める試験「高等学校卒業程度認定試験」に合格し、大学受験などの資格を得る制度もあります。不登校の子どもや中途退学した子どもには、全日制にこだわらず、将来のことを見据えた長い目で進路の情報を提供したいものです。



## リスタートクラス ～ 悟り世代 ～

現在二十歳前後の世代は「悟り世代」と言われているとのこと。「悟り」というよりも「諦め」の言葉の方が合うのかな…、と個人的には思います。リスタートクラスの若者たちは、正にそのドンピシャの世代。確かに、「これからの人生に無駄な期待はしない」というようなことをよく言っています。

その最たる代表がK君。そんなK君が、この前、「これまで、色んなものに心が動かないようにガードしていた。そうすると、確かに傷つくことはないけど、喜びもない、ということに最近気付いた。」と話していました。「諦め」の気持ちに支配されていたK君ですが、それが少しだけ「期待」もしくは「希望」を抱けるようになったのでしょうか…。4月から緩やかな就労をしているK君。自分のした仕事を認められたり、褒められたりの積み重ねが功を奏しているようです。

クラーク博士の「青年よ大志を抱け」との言葉がありますが、最近は「青年よ小志を抱け」の方がシックリくる感じがします。それは決して悪い意味ではなく、身近な環境、人間関係、日々の生活の中に小さな喜びを感じ取り、それが生きる喜びとなる…、という生き方の選択もOKではないでしょうか。



## <適応指導教室> (シャイニングの活動)

## 収穫の多い晩秋を過ごして

通級生にとって11月は充実した収穫の多い月でした。

毎回元気に集中した学習が続いていて、これまでの学習内容の定着を試す段階に入ってきた教科もあります。秋からの学習の深まりを大事にしていきたいと考えています。

体育は趣向を変え、スポーツ指導員の方の協力をいただき、いろいろな新種のスポーツを紹介してもらうこともできました。触ったことのない目新しい用具を準備してもらい、数人でもゲームが可能で、しかもそれほど激しすぎず上手下手に関係しない競技で体を動かしました。人数に合わせルールを決め、投げたり走ったり、ときにはスライディングして笑い転げたりなど、日ごろの運動不足の解消にもってこいの楽しい時間になりました。

体験活動も心に残る内容でした。1回目は編み物。今どきの中学生はこういう色のこんな変わった毛糸を好むのかあと、ちょっと驚きの一時でした。マフラーのほぼ半分まで進みました。完成を楽しみしているところです。2回目は畑の作業で、残っていた野菜の収穫と片付けです。そこでは読んで字の如く「落花生」をじっくり観察することができました。生徒達にもインパクトが大きかったと思います。大根や白菜等、販売できるほどの収穫量ではなかったのですが、教育委員会内でのおすそ分けの活動で終了したところです。寒さや冷たさを気にするでもなくどろどろになりながらも、土や大根の匂いを嗅いだこと、農家の人の苦勞が体験できたことなどを感想に記していました。

さて、もう師走になりました。生徒達の頭の中では学校の姿がちらちらしてきているようでもあり、3年生に向けた自分の立ち位置を考えているようでもあり……。

あせらず見守り励ましていきたいと思います。



細見スポーツ指導員に「室内ペタンク」を紹介していただき、ゲームで汗を流しました。  
(シャイニングクラス・体育)

### 気楽に話し合う会

12月20日(金) 19:00 ~ 21:00

会場 : わくわく新庄

## 12月の活動

在籍 シャイニングクラス 2名  
リスタートクラス 6名

シャイニングクラス	リスタートクラス
○ 月曜日 理科、数学	○ 月曜日 自主活動
○ 水曜日 国語、英語	○ 木曜日 体験活動
○ 金曜日 社会、体育	
○ 木曜日 体験活動(月2回)	

◆ 体験学習 ⑯ 12月5日(木)

ポップアップカードづくり

◆ 体験学習 ⑰ 12月19日(木)

クリスマスリースづくり



### 教育相談室担当者

○ダイヤルなんでも相談 鈴木

TEL 23-7266

○適応指導教室(シャイニング) 林・小野

○青少年の自立支援(リスタート) 菖蒲

TEL 22-2111

(内線 445、448)